



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 日産車体株式会社

コード番号 7222 URL <http://www.nissan-shatai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 義章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 牛込 正明

TEL 0463-21-8001

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	253,036	9.9	4,503	△10.6	4,728	△2.9	3,164	13.6
27年3月期第2四半期	230,231	15.1	5,036	151.1	4,867	174.5	2,784	196.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3,442百万円 (3.5%) 27年3月期第2四半期 3,325百万円 (254.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	21.39	—
27年3月期第2四半期	18.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	265,329	170,079	64.1	1,149.72
27年3月期	264,484	167,302	63.3	1,130.95

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 170,079百万円 27年3月期 167,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
28年3月期	—	4.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	480,000	1.0	10,300	△0.3	10,700	△3.5	6,900	△55.9	46.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	157,239,691 株	27年3月期	157,239,691 株
28年3月期2Q	9,309,209 株	27年3月期	9,309,061 株
28年3月期2Q	147,930,574 株	27年3月期2Q	147,930,694 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	8
連結製品別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策及び金融緩和の効果が継続したことにより、緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方、海外は、米国では緩やかな景気回復が継続したものの、中国をはじめとする新興国経済の鈍化などにより先行き不透明な状態が続きました。

このような経済情勢の下、当社が日産自動車株式会社から受注しております自動車は、昨年9月に生産を終了した「セドリック」の減少があるものの、北米・中国向けの「クエスト」、中近東向けの「パトロール」等が増加したことにより、売上台数は前年同期と比べ10.6%増加の105,067台、売上高も9.9%増加の2,530億円となりました。営業利益は部品売上の減少やコスト増加などにより前年同期と比べ10.6%減少の45億円、経常利益は、前期まで計上していた退職給付会計基準変更時差異の償却終了などにより2.9%減少の47億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失の減少や税制改正に伴う税率の引き下げによる法人税等の減少などにより13.6%増加の31億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ53億円増加の2,058億円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加48億円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ45億円減少の594億円となりました。これは主に、工具、器具及び備品の減少27億円、機械装置及び運搬具の減少11億円によるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ8億円増加の2,653億円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ9億円減少の838億円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加44億円があるものの、未払法人税等の減少17億円、未払費用等流動負債のその他の減少36億円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ10億円減少の114億円となりました。これは主に、退職給付に係る負債の減少6億円によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ19億円減少の952億円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ27億円増加の1,700億円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加31億円及び剰余金の配当による減少6億円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日の「平成27年3月期決算短信」での業績予想を変更しておりません。

なお、今後の動向により業績に影響を及ぼす場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更し
ております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変
更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度について
は、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	563	355
受取手形及び売掛金	70,734	75,544
仕掛品	4,768	5,452
原材料及び貯蔵品	2,154	2,505
預け金	117,796	116,608
その他	4,486	5,426
流動資産合計	200,504	205,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,248	12,274
機械装置及び運搬具(純額)	21,155	19,999
工具、器具及び備品(純額)	9,873	7,129
土地	15,684	15,684
建設仮勘定	1,071	671
有形固定資産合計	60,033	55,759
無形固定資産	909	794
投資その他の資産	3,038	2,881
固定資産合計	63,980	59,435
資産合計	264,484	265,329
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,500	57,996
未払法人税等	3,196	1,486
製品保証引当金	171	148
その他	27,869	24,204
流動負債合計	84,737	83,835
固定負債		
製品保証引当金	264	211
退職給付に係る負債	8,466	7,794
その他	3,714	3,408
固定負債合計	12,445	11,414
負債合計	97,182	95,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,904	7,904
資本剰余金	8,517	8,517
利益剰余金	160,748	163,246
自己株式	△8,361	△8,361
株主資本合計	168,809	171,307
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△1,507	△1,228
その他の包括利益累計額合計	△1,507	△1,228
純資産合計	167,302	170,079
負債純資産合計	264,484	265,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	230,231	253,036
売上原価	221,964	245,374
売上総利益	8,266	7,662
販売費及び一般管理費	3,230	3,158
営業利益	5,036	4,503
営業外収益		
受取利息	159	197
固定資産賃貸料	97	100
その他	87	29
営業外収益合計	343	328
営業外費用		
支払利息	25	23
固定資産賃貸費用	63	58
退職給付会計基準変更時差異の処理額	374	-
その他	49	21
営業外費用合計	512	104
経常利益	4,867	4,728
特別利益		
固定資産売却益	289	1
その他	16	-
特別利益合計	305	1
特別損失		
固定資産売却損	693	0
固定資産除却損	58	186
工場再編費用	132	-
特別損失合計	884	186
税金等調整前四半期純利益	4,288	4,543
法人税等	1,504	1,379
四半期純利益	2,784	3,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,784	3,164

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,784	3,164
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	541	278
その他の包括利益合計	541	278
四半期包括利益	3,325	3,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,325	3,442
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,288	4,543
減価償却費	8,801	6,303
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△871	△671
受取利息及び受取配当金	△215	△199
支払利息	25	23
固定資産売却損益(△は益)	404	△1
固定資産除却損	58	186
売上債権の増減額(△は増加)	6,688	△4,810
たな卸資産の増減額(△は増加)	845	△1,040
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,441	5,404
その他	△2,054	△3,070
小計	9,531	6,666
利息及び配当金の受取額	214	200
利息の支払額	△25	△23
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,530	△3,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,189	3,751
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△2,032	△1,651
固定資産の売却による収入	518	6
貸付金の回収による収入	0	1
有形固定資産の除却による支出	-	△1,168
その他	29	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,484	△2,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△665	△665
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△2,852	△1,627
その他	-	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,518	△2,336
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,186	△1,395
現金及び現金同等物の期首残高	87,355	118,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,542	116,964

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

連結製品別売上高

区分	前年同四半期 平成27年3月期 第2四半期		当四半期 平成28年3月期 第2四半期		増 減	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
乗用車	41,328	123,217	53,590	154,326	12,262	31,108
商用車	44,133	68,231	40,185	60,923	△3,948	△7,308
小型バス	9,544	20,088	11,292	23,301	1,748	3,213
部品売上・その他	—	18,693	—	14,485	—	△4,208
合 計	95,005	230,231	105,067	253,036	10,062	22,804

2015年度 上半期決算 参考資料

2015年11月2日
日産車体株式会社

連結

(単位：億円)

	当上半期実績 '16年3月期	前上半期実績 '15年3月期
売上高	2,530.3 (9.9%)	2,302.3 (15.1%)
営業利益	45.0 (▲10.6%)	50.3 (151.1%)
経常利益	47.2 (▲2.9%)	48.6 (174.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31.6 (13.6%)	27.8 (196.4%)
増減要因 (営業利益)	<div style="text-align: right;">億円</div> 台数構成 25 合理化等 ▲15 その他 ▲15 計 ▲5	
配当金 (円/株)	中間 4.5円	中間 4.5円
設備投資	21	21
減価償却費	63	88
ネットキャッシュ	1,169	895
売上台数	千台	千台
乗用車	54 (29.7%)	41 (9.8%)
商用車	40 (▲8.9%)	44 (10.5%)
小型バス	11 (18.3%)	10 (51.3%)
計	105 (10.6%)	95 (13.2%)

* ()内は対前年同期増減率